

第五期長期計画・調整計画市民会議 第2回
傍聴者アンケート(自由記載欄)

1. 今回の市民会議で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

- ▶ 全体的に「地域のつながり」が共通して求められており、特に健康、福祉の分野では「地域リハビリテーション」の概念に通じる問題意識が持たれていた。その分、今後は具体的な成果を分かりやすく提示できるようにしなければいけないと思いました。委員の方のアイデアの豊富さに、良い刺激を受けました。障害者福祉に関する意見をもう少し聞きたかったです。
- ▶ 介護や子育てなどにおいてピア（仲間・対等）サポートという援助方法を活用できれば、新しい可能性となるのでは？地域ニーズをどう表に出していくか？その工夫が重要となる。「HELP!」と言いやすいまちづくり、そこから地域の支え合いにつなげていく可能性は？
 - ・ 新しい子育てニーズの実態把握が必要
 - ・ 多様性、多文化共生
 - ・ 教員志望大学生と教育機関のネットワークづくり
 - ・ 自己完結、自己中心的な大人が増えている事への取り組み

2. その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

- ▶ 調整計画において、子育ての社会化（地域や社会全体で子育てを）をどう展開するか？教育、子育てに関しては、共生できる教育現場づくりをどうできるか？これが地域リハを理念にしている武蔵野市の独自性になると思います。社会全体の多文化共生が重要なテーマです。地域コーディネートをやる際に仕事や負担をシェアできる力や工夫が今後の課題です。
- ▶ 特別支援教育について（自分は大学で専門で学んでいます）
市民の方（一般の人）が障害のある子どもへの教育に対して一定の理解と、住んでいる地域で学ぶことの大切さを理解されていて、とてもうれしく思いました！学校にボランティアで入るという意見がありましたが（大学生が）勉学で忙しくなかなか入れないのも現状であり、プライバシーの観点から、テストの丸つけの補助等はできないと思います。もっと、自由な動きが出来るような子どもへの関わり方等、学校への介入の方法を考えて頂ければと思います。」